



地域とともにある園づくり

園長 本多 郁代

今年の冬も園庭には銀世界が広がり、雪遊びを楽しむ子どもたちの姿が見られました。昨年より小雪だったため、そり遊びはできませんでしたが、年長組や年中組は、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりしました。年長組のある子どもは、「(雪は) ふわふわだったけど、手でぎゅっぎゅっぎゅってしたら、(雪が) 固まって雪合戦ができた。楽しかった!」と、玉づくりのコツを見事に表現して、雪遊びの醍醐味を語ってくれました。また、ぐっと冷え込んだ朝に登園してきた年中組のある子どもは、「すごいよ! 水たまりが氷になっていたよ。つるつるしていた。でもね、乗っても割れなかったよ。きっと氷が厚いんだね。」と、自分のもっている知識と結び付けながら、発見したことを得意げな表情で、いきいきと語ってくれました。

大人にとっては、気持ちがふさがちな冬でも、子どもたちは五感を使って全身で冬を楽しんでいます。その姿を目の当たりにする度に、私たちはこれまで以上によりよいものや人、出来事との出会いを創り出していきたいと考えていますし、子どもたちにはそれらとの出会いから、もっともっとかかわりを深めより広い世界を知り、新たな「自分」をつくってほしいと願ってやみません。

これまでも、保護者の皆様からは、英語活動や読み聞かせ、夏祭りなどたくさんご協力を

お力をお借りしたい内容の一例

- 読み聞かせ・素話
- 畑畝づくり・野菜作り指導
- 植栽・クリーン活動支援
- 特技を生かした遊びの指導
- 紙棒やお面ベルトづくり
- 廊下・壁面装飾
- 蔵書点検・破損した本の修理
- 草取り・プール清掃・除雪

をいただいてまいりましたが、これからはその輪を地域にも広げ「地域とともにある園づくり」を目指して、さらに一步一步地域との絆も深めてまいりたいと考えております。新たなカリキュラムマネジメントについて、保護者の皆様からも趣旨をご理解いただき、地域の方々にもお力添えいただきたいと思います。かわっていただいた皆様には、子どもたちのとびっきりの笑顔をお持ち帰りいただきます。詳細につきましては次年度以降、園からお知らせいたします。皆様のご

理解ご協力をお願いいたします。

